

コロナ後対策で論戦

沖縄市長選公開討論会

沖縄市長選

【沖縄】17日告示、24日投票の沖縄市長選に向け、沖縄青年会議所は10日、立候補を予定している現職の桑江朝千夫氏(66)と自民、公明推薦の(66)と、新人で前市議の森山政和氏(73)と共産、立良社民、社大、にぬふあぶし推薦の2氏による公開討論会を市内で開催した。コロナ後の経済対策や子どもへの貧困問題の解決策について論戦を交わした。

桑江氏は「貧困の連鎖を断ち切るためにも、一人親家庭や若者の就労支援に注力する」と述べ、資格取得などキャリアアップ支援を掲げた。

森山氏は「貧困問題の中長期的な対策として教育格差の解消が必要」とし、少人数学級の推進や学習支援員の増員などの政策を示した。

(石井恵理菜) 現職・桑江氏が総決起大会開催 沖縄市長選

【沖縄】17日告示、24日投票の沖縄市長選に立候補を予定する現職の桑江朝千夫氏(66)と自民、公明推薦の2氏の総決起大会が11日、沖縄市民会館で開かれた。桑江氏は「経済的に発展し、世界に知られる街にする」と強調し、市政継続を訴えた。



桑江氏は自身が推進した沖縄アリーナ整備など、2期8年の実績を強調し、市政継続を訴えた。

調した。貧困問題の解決についても尽力するとし、「企業や地域のみならず、貧困の連鎖を断ち切る仕組みを共同でつくりたい」と語った。

自民党の菅義偉前相や、農尻安伊子衆院議員、自民党県連の中川京貴会長、公明党県本の金城勉代表らが応援に駆け付けた。(石井恵理菜)



公開討論会で議論する桑江朝千夫氏(左)と森山政和氏(右)。沖縄市上地の「サミニュージックタウン」隣の「オキラジ」